

(昭和十年七月末日現在)

七、争議参加人員 レイヨン部約二六〇名(内女工四〇名)

工場名	女工	男工	計
精練工場	四〇	七〇	一一〇
紡糸工場	一	一五〇	一五〇
合計	四〇	二二〇	二六〇

八、争議發生年月日 昭和十年七月二十七日

九、同 解決年月日 同 年八月二日

十、同 發生原因

今回労働争議の發生したのはレイヨン工場の一部であるが、
其の原因を要約してみれば、
一般的原因としては

本年二月ベンベルグ部操糸工場女工の待遇改善要求で罷業の

あつた當時より工場全体の空氣がよくなかつたこと、

第二期擴張工事竣成に依りベンベルグ、レイヨン兩工場共夫々大増員をなし各地より職工を募集し就中レイヨン工場の現場監督を始め幹部職工は之れを大津工場より轉勤せしめた者で普通職工間との融和統制が充分採れてゐないこと、等であり直接原因と見るべきものは――

本年六月の昇給期に當りベンベルグ工場に於ては六月二十一日定期昇給を發表したのにレイヨン工場の方では之れを發表しなかつたこと、

而してレイヨン工場で七月になつて發表した昇給が單に六月現在での年齢關係の昇給のみを行ひ一般に對する會社當局の説明が充分でなかつたこと、

かくてレイヨン部精練工場(女工)に於ては豫ねてより日給